

5月 4-10日

[イザヤ 58-59章](#)

21 番の歌と祈り | 開会の言葉 (1分) 長谷川 瑛一 | 田中克彦
神の言葉の宝

1. エホバからの祝福を十分に味わうために (10分) 有田 悟

人をもてなす。 ([イザ 58:7-9](#))

エホバへの崇拝を何よりも優先する。 ([イザ 58:13, 14](#)。 [塔 06 6/15 22 ページ 9 節](#))

エホバが世話してくれることを信じる。 ([イザ 59:1](#)。 [塔 13 1/15 13 ページ 5-6 節](#))

考えてみよう イスラエル人がエホバから祝福してもらえなかったのは、どうしてだろう。そのことから何を学べるだろうか。 ([イザ 58:1-5](#)。 [洞「断食」 4 節](#))



2. 宝石を探し出す (10分) 大谷 正

[イザ 59:11](#) 私たちは皆、熊のようにうなり続け、ハトのように悲しげに鳴き続ける。公正を待ち望むが、それはない。救いを待ち望むが、それは程遠い。

イスラエル人が「熊のようにうなり続け」たとは、どういう意味か。 ([洞「熊」 6 節](#))

空腹な熊は獲物のにおいをかぐと、じれったそうなうめき声を上げる ことが知られています。それで預言者イザヤはイスラエル人を、公正と救いを予期して『熊のようにうめいて (うなつて)』は何度も失望を味わう者として描いているのです。 ([イザ 59:11](#)) また、立場の低い臣民を苦しめ、虐げる邪悪な支配者が、襲いかかる熊に例えられているのも適切なことです。 — [箴 28:15](#)。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

([59:8](#)) 人間の不完全な傾向ではなく、明らかに自らエホバから離れて不公正な生き方をする者はエホバからの平和を経験出来ないことを教えている。人はエホバとの絆を強めて始めてエホバからの平和、真の幸福を経験できるので、私たちは生活の細かい部分についてもエホバのご意思を反映するように努めて、この素晴らしい平安を経験していきたい。

3. 聖書朗読 (4分) イザ 59:1-12 (教励 第 10 課) 向山 公庸

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 宮崎 倫子 愛込 1-5 平山 優子

(3分) 家から家で。パンフレットを使って会話を始める。 ([愛込 レッスン 1 ポイント 5](#))

5. 会話を始める 枝並 あや子 愛込 2-4 田中 弘子

(4分) 日常生活で。「愛を込めて」の冊子の [付録 A](#) から 1 つの点を伝える。 ([愛込 レッスン 2 ポイント 4](#))

6. 話 米山 英行 教励 8

(5分) [愛込 付録 A ポイント 16](#) 主題: 何度も祈ることは大切。 ([教励 第 8 課](#))

クリスチャンとして生活する

100 番の歌

7. 「人をもてなすことに努めましょう」 (15分) 討議。 梅原 直行



パウロはクリスチャンに「人をもてなすことに努め」るよう勧めました。(ロマ 12:13, 注釈) 人をもてなすことに努めましょう: 「に努める」に当たるギリシャ語は字義通りには、「急ぐ」、「走る」と訳せる。パウロはここでこの語を使い、頼まれたとき以外にもてなすようクリスチャンに促している。自分から進んで、いつももてなすよう努力することを勧めている。「もてなすこと」に当たるギリシャ語フィロクセニアは、字義的には「見知らぬ人に対する愛(好意)」を意味する。これは、仲の良い友以外の人をもてなすべきであることを示している。パウロは同じ語をヘブ 13:2 でも使い、創世記 18 章と 19 章に出てくるアブラハムとロトのことにそれとなく触れているようだ。アブラハムとロトが見知らぬ人をもてなした時、それとは知らずに天使たちをもてなしていた。創 18:1-8 には、アブラハムが客を世話するために走ったり急いだりしたことが書かれている。関連する形容詞フィロクセノスは、もてなすことを勧めるギリシャ語聖書の他の文脈に 3 回出てくる。(テモ 3:2。テト 1:8。ペー 4:9) このアドバイスに従うなら、豊かな祝福を味わえます(格 11:25 惜しみなく与える人は報われ(d*太らされ), 他の人を爽やかにする(d*に惜しみなく水を与える)人は自分も爽やかにされる)

「エホバの友になろうもてなす」の動画を再生する。次の質問をする。

- この動画から、もてなすことについて何を学びましたか。⇒大切なことは時間と気遣い
- これまで人をもてなした時、どんな良いことがありましたか。⇒良く知り合え助合う関係可
エホバはもてなす点で最高のお手本です。(使徒 14:17 それでも、善いことを行って、ご自分のことを明らかにしていました。天からの雨と実りの季節を与え、食物を豊かに供給して人々の心を喜びで満たしたのです。) 申命記 10:17, 18 皆さんの神エホバは神の中の神、主の中の主、偉大で力強く、威厳に満ちる神であり、誰をも不公平に扱わず、賄賂を受け取りません。18 父親のいない子供(*孤児)ややもめが公正な裁きを受けられるようにし、外国人居住者を愛して食物と服を与えます。を読む。次の質問をする。
- エホバの手本から、もてなしについて何を学びますか。⇒出し惜しみせず豊かに供給すること
- 仲の良い友達以外の人をもてなすなら、どんな良いことがありますか。⇒友人(姉・弟)増やす
- 聖書にはほかにも、どんなもてなしの例が載せられていますか。そこから何を学びますか。⇒
- どんなふうにもてなしたいと思いますか。目標を書いてみましょう。⇒①ちょっとした「もてなし」を習慣にする。②定期的に人々や仲間の益を図った計画をして実施する。

8. 会衆の聖書研究 (30分) 大レッスン 82-83 田中 慶一 | 大谷 優志

閉会の言葉 (3分) | 42 番の歌と祈り 有田 悟

^ (イザ 58:1-59:21) 「声を限りに叫びなさい。ためらってはいけない! 角笛のように声を上げなさい。私の民に彼らの反抗について、ヤコブの子孫に彼らの罪について告げなさい。2 彼らは日ごとに私に導きを求め、私の道を知ることの喜びを表す。正しいことを行った国民であるかのように。自分たちの神の公正を捨てなかったかのように。正しく裁くよう私に求め、神に近づくことを喜んでこう言う。3 『断食しているのに、どうして見てくださらないのですか。自分たちを苦しめているのに、どうして気に留めないのですか』。なぜなら、あなたたちは断食の日に自分のしたいことをし*, 労働者たちを虐げるからだ。4 断食しても結局は口論や争いになり、